

内閣府 委託

子どもの交通安全確保のための対策に関するアンケート ご協力をお願い

2012年10月

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

本アンケートは、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)が、内閣府からの委託を受けて実施させて頂くものです。本調査では、子どもの交通安全確保のために各地方自治体で取り組んでおられる対策について実態・傾向を把握するとともに成功事例の分析等を行い、その結果を皆様にフィードバックすることで、国として各自治体の取り組みを後押し、子どもの交通安全対策の促進を図ることを目的としています。

皆様方からいただくご回答の一つ一つが、子どもの交通安全の実現にとって極めて有用なものとなることから、ご協力の程、何とぞよろしくお願い申し上げます。

～ ご記入にあたって ～

交通安全対策事業の実施部署が複数にまたがる場合には、関連部署間で回覧のうえご回答ください。

本アンケートは、大きく分けて以下の3つのセクションから構成されています。

- ・貴自治体における交通安全対策に係る取り組み体制や施策・事業の実施状況について
- ・子どもの交通安全確保のための対策に係る成功事例について
- ・当初想定していた効果・成果が得られなかった取り組みについて

本アンケートの回答期限は、2012年11月2日(金)です。

この調査に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

tel.03 - **** - **** 担当：**、**、**

または tel.03 - **** - **** 担当：**、**

e-mail : ****@murc.jp

～ 用語の定義等について ～

本調査における「子ども」とは、中学生以下を指します。

本調査における貴「自治体」の対象としてとらえる部署は、地方自治法第158条において定められている、貴自治体の長の権限に属する事務を分掌する内部組織とします。同法第180条の5において定められている各種行政委員会(教育委員会、公安委員会等)のほか、各都道府県においては公安委員会の管理下にある都道府県警察を含みません。

本調査における「取り組み(施策・事業)」とは、貴自治体を実施する単独事業(国の補助を受けずに、地方税や地方債等の自主財源を使って貴自治体の自主的な判断に基づいて行う事業)および使途が自由な国からの一般交付金を使って実施する事業を指します(使途が特定されている国からの交付金・補助金による事業は含みません)。また、貴自治体の単独事業として実施する、民間団体・関連団体等への委託事業や補助事業も含みます。

アンケートには、ご回答者名や連絡先をご記入頂く箇所があります。皆様の個人情報は、三菱UFJリサーチ&コンサルティングのWebページに掲載致しております「個人情報保護方針」及び「個人情報の取扱いについて」に従い適切に取り扱います。

<ご参考 <http://www.murc.jp/profile/privacy.html>>

貴自治体における交通安全対策に係る取り組み体制や施策・事業の実施状況について

ここでは、子どもを対象としたものに限定せず、貴自治体における交通安全対策全般についてお伺いします。

貴自治体名は、右記のとおりで間違いがないか、ご確認ください。

都 道 府 県
市 町 村

問1 ご回答者様の所属部署名・役職・連絡先等をご記入ください。

(注) ご回答頂く部署が複数にまたがる場合には、その代表の方のご連絡先をご記入下さい。本連絡先は、ご記載頂いた内容についてお問い合わせをさせて頂く際に活用させていただきます。

所 属 部 署 名			
役 職 ・ お 名 前			
e - m a i l		電 話	

問2 貴自治体において、交通安全対策基本法に定める交通安全対策会議の設置状況について、あてはまるものを一つだけ選んでください。

1. 会議を設置済み
2. 会議を設置するかどうかを検討中
3. 会議を設置の予定なし
4. 会議を廃止した
5. その他（具体的に： ）

問3 貴自治体における、交通安全対策基本法に定める交通安全計画の策定状況について、お尋ねします。

3-1 貴自治体において、交通安全対策基本法に定める交通安全計画（中長期計画）の策定状況について、最もあてはまるものを一つだけ選んでください。

1. 計画を策定済で今後も更新予定
2. 計画を策定済だが次回更新する予定なし
3. 計画を策定中
4. 計画を策定するかどうかを検討中
5. 計画を策定する予定なし^{*1}
6. その他（具体的に： ）

(※1) 過去に計画を策定したことがあるが、計画期間終了後に更新しなかった場合（＝廃止した場合）を含みます。

3-2 貴自治体において、交通安全対策基本法に定める交通安全実施計画（単年度の実施計画）の策定状況について、最もあてはまるものを一つだけ選んでください。

1. 計画を策定済で今後も更新予定
2. 計画を策定済だが次回更新する予定なし^{*2}
3. 計画を策定中
4. 計画を策定するかどうかを検討中
5. 計画を策定する予定なし^{*1}
6. その他（具体的に： ）

(※2) 過去に計画を策定したことがあるが、計画期間終了後に更新しなかった場合（＝廃止した場合）を含みます。

問4 貴自治体において、交通安全対策に従事する職員数は何人ですか。専任・兼任別に常勤の職員数をご回答ください。（貴自治体からの補助金、委嘱・任命による他の団体の活動人員は、含みません。）

(注) 交通安全対策関連の施策・事業に係る企画・立案、交通安全計画の進捗管理等に従事する実働ベースの人数をお答えください。

(注) 部長、課長などの管理職であっても、上記に該当する場合は含めてください。

(注) 回答する人数は概数でも構いません。

専任	兼任	合計
人	人	人

問5 国が毎年春及び秋に実施する全国交通安全運動についてお伺いします。

5-1 毎年春に実施する全国交通安全運動の実施期間の長さについて、最もあてはまるものを一つだけ選んでください。

- | |
|------------------------------------------------------------------|
| 1. 長すぎる..... 問5-2へ
2. ちょうどよい..... 問5-3へ
3. 短すぎる..... 問5-2へ |
|------------------------------------------------------------------|

5-2 適切と考える実施期間とその理由をご記入ください。

適切と考える実施期間	その理由
日程度	(例) 新入学児童の交通安全を図るため/等

5-3 毎年秋に実施する全国交通安全運動の実施期間の長さについて、最もあてはまるものを一つだけ選んでください。

- | |
|------------------------------------------------------------------|
| 1. 長すぎる..... 問5-4へ
2. ちょうどよい..... 問5-5へ
3. 短すぎる..... 問5-4へ |
|------------------------------------------------------------------|

5-4 適切と考える実施期間とその理由をご記入ください。

適切と考える実施期間	その理由
日程度	(例) 日が短くなるシーズンを前に注意喚起を徹底するには、十分な期間を取る必要があるため/等

5-5 地方統一選挙の実施年度における春の全国交通安全運動についてお伺いします。地方統一選挙が実施される場合、春の全国交通安全運動の実施期間は通常4月から5月へと後ろ倒しになることが多いですが、貴自治体では、4月実施とならなかった場合、新入学児童等のために、全国交通安全運動に先立ち4月において、独自の交通安全運動を実施していますか。あてはまるものを一つだけ選んでください。

- | |
|---------------------------------------------------------------------------|
| 1. 独自の交通安全運動を実施している
2. 交通安全運動ではないが、4月は新入学向けの取り組みを行っている
3. 何も実施していない |
|---------------------------------------------------------------------------|

問6 貴自治体では、内閣府「交通ボランティア実践活動推進事業³」の支援による実践活動のような、世代間交流を通じた交通安全教育・広報活動について、内閣府の支援があった年以降も継続的に事業を実施、もしくは内閣府の取り組みとは別に独自にこのような活動を実施していますか。あてはまるものを一つだけ選んでください。

(※3) 子ども、親（保護者）及び高齢者の三世代間交流や体験型学習を通して交通ルールを学んだり、交通安全意識の浸透を図らせるため、都道府県市町村その他交通関係団体との連携・協力のもと、交通ボランティア等を中心とした実行委員会の設置を支援するとともに、実際の事業の実施・運営を支援することで地域の交通安全活動を推進する事業を指します。

- | |
|-----------------------|
| 1. 実施している..... 問7へ |
| 2. 実施していない..... 問6-1へ |

6-1 世代間交流を通じた交通安全教育・広報活動実施に対する貴自治体の関心度について、あてはまるものを一つだけ選んでください。

- | | |
|-------------|-------------------------|
| 1. 実施してみたい | 2. 国や都道府県等から要請があれば実施したい |
| 3. あまり関心はない | 4. 全く関心はない |

問7 貴自治体では、子どもの道路横断時における「手挙げ」を推奨していますか。あてはまるものを一つだけ選んでください。

- | | |
|---------------------------------------|-------|
| 1. 積極的に推奨している | 問8へ |
| 2. 交通安全教室等では指導はしているが、推奨というほどではない..... | 問8へ |
| 3. まったく推奨していない..... | 問7-1へ |

7-1 「手挙げ」を推奨していない理由は何ですか。自由にご記入ください。

(例) 左右確認を優先しており、手を挙げることだけで車に対応してくれる、という意識をもってしまうことを避けるため / 等

子どもの交通安全確保のための対策に係る成功事例について

ここでは、主として子どもの交通安全確保を目的⁴とする貴自治体の取り組みについてお伺いします。

(※4) 予算書や事業計画書等において、子どもの交通安全確保が取り組み目的として明示的に示されている施策・事業等を指します。

問8 直近3ヶ年度(平成21~23年度)において貴自治体を実施した、主として子どもの交通安全確保を目的とする取り組みのうち、成功したと思われる事例(以下、成功事例⁵)がございましたら、それぞれの取り組み事例について、以下の問(8-1~8-12)にお答えください。

成功事例がない場合は、問9にお進みください。

(注) 最大5事例まで。本調査票では紙幅の関係で、1事例を記入するだけの設計になっていますが、ウェブ画面上では、5事例まで回答できるように設計してあります。

(※5) ここで言う「成功事例」とは、当初の想定以上の効果・成果が得られた事例、予算をあまりかけずに実施することができた事例、人員をあまりかけずに実施することができた事例、住民から感謝・激励などを頂いた事例等を指します。

8-1 取り組み(施策・事業)の名称をご記入ください。

8-2 取り組み(施策・事業)の内容について、次の選択肢の中から最もあてはまるものを一つだけ選んでください。

選択肢

大分類	小分類	選択肢番号
交通安全に係る施設・交通環境の整備	歩道の整備	1
	自転車レーン・自転車道の整備	2
	道路照明・道路標識の整備	3
	防護柵の設置	4
	交通環境の点検(通学路における事故危険箇所の抽出等)	5
	スクールゾーン・通学路等の設定	6
	地域巡回・パトロール活動の強化	7
	交通指導員・学童擁護員等の配置・増強	8
	その他施設・交通環境の整備	9
交通安全教育・広報活動の推進	交通安全教室・講習会の開催	10
	交通安全運動の実施	11
	交通安全教育用刊行物・資材 ⁶ ・交通安全用具 ⁷ の配布や購入支援	12
	その他交通安全教育・広報活動の実施 ⁸	13
交通安全施策の検討・策定	交通安全会議の運営	14
	交通安全計画の策定	15
その他		16

(※6) 交通安全教育用刊行物・資材：ランドセルカバー、反射材、帽子、冊子(教本・安全啓発パンフ)など

(※7) 交通安全用具：チャイルドシート、子供用自転車ヘルメット、幼児2人同乗用自転車など

(※8) 自転車運転免許制度、ポスターコンクールの開催、広報車による巡回、ケーブルテレビでの広報番組の放映等

8-3 この取り組み（施策・事業）を成功事例とお考えになった理由について、あてはまるものをすべて選んでください。

- | |
|-----------------------------------------------|
| 1. 当初の想定以上の効果・成果が得られた |
| 2. 当初の想定どおりの効果・成果が得られた |
| 3. 予算をあまりかけずに実施することができた（当初の想定よりも事業費を削減できた等） |
| 4. 人員をあまりかけずに実施することができた（当初の想定よりも人員投入量を削減できた等） |
| 5. 住民からの感謝・激励など、この取り組みに関する肯定的な意見が多かった |
| 6. その他（具体的に： _____） |

8-4 この取り組み（施策・事業）の対象者について、あてはまるものをすべて選んでください。

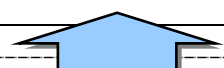
- | | | |
|--------------|--------------------|----------------------|
| 1. 小学生未満の子ども | 2. 小学生（低学年） | 3. 小学生（高学年） |
| 4. 中学生 | 5. 高齢者（65歳以上） | 6. 一般 |
| 7. 子どもの保護者 | 8. 自転車利用者（運転者・同乗者） | |
| 9. 自動車運転者 | 10. 自動車同乗者 | 11. その他（具体的に： _____） |

8-5 この取り組み（施策・事業）を実施するにあたって、どのような機関・団体と協議・調整を行いましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

また、この取り組み（施策・事業）における貴自治体以外の実施主体⁹について、あてはまるものをすべて選んでください。

（※9）例えば、交通安全教室の場合、自治体職員が直接開催しているなら10を、他の機関との共同実施事業の場合はその相手先（3、4、等）を、委託事業者ならばその団体（7、8、9）をご回答ください。

協議・調整を行った機関・団体	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
貴自治体以外の実施主体	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10



- 【選択肢】あてはまるものすべてに _____ をつけてください。
- 1. 都道府県
 - 2. 県下もしくは近隣の市町村
 - 3. 教育委員会
 - 4. 都道府県警察
 - 5. 小・中学校、PTA
 - 6. 国の出先機関（地方運輸局、地方整備局等）
 - 7. 交通安全協会
 - 8. NPO・ボランティア
 - 9. その他団体（町内会、商工会議所・商工会、商店会、民間団体等）
（具体的に： _____）
 - 10. なし

8-6 この取り組み（施策・事業）の実施期間について、あてはまるものを一つだけ選んでください。

- | |
|-------------------------------|
| 1. 単年度だけの取り組みとして終了..... 問8-7へ |
| 2. 複数年度にわたって継続的に実施..... 問8-8へ |

8-7 この取り組み（施策・事業）が単年度で終了した理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

- | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 当初の事業目的を達成できた
2. 予算を確保できなかった
3. 人材を確保できなかった
4. 事業の継続実施に係るノウハウが不足
5. 関係者間での事業継続に係る合意形成ができなかった
6. その他（具体的に： ） |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

以下では、取り組みの具体的な内容や実施実績等についてお伺いします。

8-8 問 8-2 で「12. 交通安全教育用刊行物・資材・交通安全用具の配布や購入支援」を選んだ方に、交通安全教育用刊行物・資材の作成・配布及び交通安全用具に対する購入支援の実態についてお伺いします。

配布している交通安全教育用刊行物・資材もしくは購入支援を行っている交通安全用具をすべて選び、それらについては、該当する支援形態についてもお答えください。

また、支援形態として「ウ. 購入資金の補助」を選択した場合には、当該事業の直近実施年度における支援実績について、最もあてはまるものを一つだけ選んでください。

物品の種類 (あてはまるものすべてを選択)	支援形態 <左記で を付けたものについて回答> (一つだけ選択)	直近年度の支援実績 <左記でウを選択した場合のみ> (一つだけ選択)
1. ランドセルカバー	ア イ ウ エ オ カ	a b c d
2. 反射材	ア イ ウ エ オ カ	a b c d
3. 帽子	ア イ ウ エ オ カ	a b c d
4. 冊子 (教本・安全啓発パンフ等)	ア イ ウ エ オ カ	a b c d
5. チャイルドシート	ア イ ウ エ オ カ	a b c d
6. 子供用自転車ヘルメット	ア イ ウ エ オ カ	a b c d
7. 幼児2人同乗用自転車	ア イ ウ エ オ カ	a b c d
8. その他刊行物、資材、用具 (具体的に)	ア イ ウ エ オ カ	a b c d

【選択肢】あてはまるもの一つに をつけてください。

- ア. 貴自治体独自で作成したものを配布
- イ. 市販品を配布
- ウ. 購入資金の補助
- エ. レンタル（有料または無料）
- オ. 購入先斡旋
- カ. その他（具体的に)

【選択肢】あてはまるもの一つに をつけてください。

- a. 事業予算のほぼ満額
- b. 事業予算のほぼ半分程度
- c. 事業予算の2～3割程度
- d. 事業予算の1割程度

「実施実績」欄の回答項目（例）

取り組み内容（問 8-2）		回答項目（例）
交通安全に係る施設・交通環境の整備	歩道の整備	整備延長（着工ベース、完成ベース）
	自転車レーン・自転車道の整備	整備延長（着工ベース、完成ベース）
	道路照明・道路標識の整備	整備数（着工ベース、完成ベース）
	防護柵の設置	整備延長（着工ベース、完成ベース）
	交通環境の点検	危険箇所の抽出数
	スクールゾーン・通学路等の設定	設置箇所数
	地域巡回・パトロール活動の強化	実施回数
	交通指導員・学童擁護員等の配置・増強	配置人数
	その他施設・交通環境の整備	（他の回答項目例を参考に記載して下さい）
交通安全教育・広報活動の推進	交通安全教室・講習会の開催	開催時期、開催回数、参加者数
	交通安全運動の実施	実施時期、実施期間
	交通安全教育用刊行物・資材・交通安全用具の配布や購入支援	物品別の配布数/貸与数/購入先幹旋数
	その他交通安全教育活動・交通安全広報活動（自転車運転免許制度、ポスターコンクールの開催、広報車による巡回、ケーブルテレビでの広報番組の放映など）の実施	（他の回答項目例を参考に記載して下さい）
交通安全施策の検討・策定	交通安全会議の運営	会議の開催回数
	交通安全計画の策定	会議の開催回数、策定有無
その他		（他の回答項目例を参考に記載して下さい）

この取り組み（施策・事業）の実施によってどのような効果・成果^{11、12}がありましたか。ご回答者様の主観で結構ですので、あてはまるものをすべて選んでください。

（※11）効果・成果とは、この取り組み（施策・事業）がどの程度目的を達成したのか、あるいは社会にどのような影響を与えたかなどを示すもので、数量として把握できない定性的なものも含まれます。

（※12）複数年度にわたる事業全体の効果・成果をご回答ください。

<p>1. 交通事故の減少</p> <p>2. 交通安全に対する意識の高まり</p> <p>3. 自転車・自動車の運転マナーの向上</p> <p>4. その他</p>

前問 で回答した効果・成果の内容について具体的にご記入ください。

<p>例：本取り組みの開始以降、小学校の通学路付近ではスピードを落として走行しているように感じられるようになった。</p>

8-11 この取り組み（施策・事業）を実施するにあたって、どのような課題・問題点に直面しましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

1. 必要な予算を十分に確保できない
2. 必要な人材が不足（必要な資質・能力の具体的内容： ）
3. 必要な時間が不足
4. 取り組み実施に係る知識・ノウハウが不足（必要な知識・ノウハウの具体的内容： ）
5. 適切な教材がない
6. 関係者間の調整、協力体制の構築
7. 住民の理解が得られない、関心が低い
8. 成果が出るまでに時間がかかる
9. 成果の適正な評価が困難
10. 国の規制など制度的な制約が存在（規制の具体的内容： ）
11. その他（具体的に： ）
12. 特になし

8-12 この取り組み（施策・事業）を実施するにあたって、どのような工夫をしましたか。問 8-11 で回答した課題をどのように克服したのか、取り組み推進にあたってのポイントなどについて自由にご記入ください。（いつ、どのような場面で、誰を対象に、どんな工夫を、なぜ、どのように行ったのか等が分かるよう、具体的にご回答下さい。）

例：事業実施にあたっては現職の職員だけでは少なすぎるため、貴自治体や地元警察のOB等の協力を得て「交通安全教室・講習会」を開催した。その際、地域内にある大学生のサークルにも交通安全教室・講習会の運営ボランティアとして参加してもらい、運転経験の少ない大学生にも、児童の行動特性を実体験を通じて学んでもらえる機会を意図的に設けた。

・当初想定していた効果・成果が得られなかった取り組みについて

問9 直近3ヶ年度(平成21~23年度)において貴自治体を実施した子どもの交通安全確保のための対策のなかで、当初想定していた効果・成果が得られなかった取り組みはありましたか。ご回答者様の主観で結構ですので、あてはまるものを一つだけ選んでください。

(注) 事業を行う上でうまくいかなかった経験からは、次回類似の事業を行う際の教訓を得ることができると思いますので、地方自治体間でこの「教訓」に当たる情報を共有するための問いです。積極的なご記入をお願いします。

(注) ここで言う「効果・成果が得られなかった取り組み」とは、準備に必要な時間が不足していた、関係者間の調整・協力体制を構築できなかった、住民の理解や関心が十分に得られなかった等の要因により、当初想定していた効果・成果が得られなかった取り組みを指します。

1. あった..... 問9-1へ

2. なかった..... 調査終了

9-1 それはどのような取り組みでしたか。取り組み(施策・事業)の内容について、選択肢(問8-2の選択肢)の中から最もあてはまるものを一つだけ選び、その取り組み概要を具体的にご記入ください。

(取り組み内容)

(取り組み概要)

選択肢：問8-2と同じ(省略)

9-2 当初想定していた効果・成果はどのようなものでしたか。また、それが得られなかった要因は何だったとお考えですか。具体的にご回答下さい。

(例) <当初想定していた効果・成果>：児童全員が反射材を着用するものと想定していた。
<それが得られなかった要因>：児童の服やランドセルに貼り付ける反射材のデザインが悪かったため、特に女子児童が着用を嫌がり、また、保護者からの支持も得られなかったこともあって着用が定着しなかった。

9-3 また、その経験からどのような教訓が得られましたか。自由にご記入ください。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。